

「落花生」生育情報（第3報）

平成26年9月10日
千葉県農林水産部
生産振興課

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

1 生育状況

本年は、梅雨明け以降の気温が高く、地域によっては降水量が少なく干ばつ傾向となりましたが、8月中旬以降は一転して、気温は低くなり、8月下旬の降水量は多くなりました。

調査ほ場における9月2日現在の生育状況は、「千葉半立」は、さや数、さや重はやや多い、「ナカテユタカ」は、地域で生育状況にバラつきがありますが、全般にさや数、さや重とも平年並み、「おおまさり」は、さや数、さや重とも少なくなりました。また、今年は、各品種とも不稔が多くなっています。

この結果、「千葉半立」は並み、「ナカテユタカ」は並からやや不良、「おおまさり」はやや不良となっています。

作況調査成績（9月2日調査）

品種名	年次	は種日	開花期	地上部 生体重 (g/株)	さや実数 (個/株)	上さや数 (個/株)	下さや数 (個/株)
千葉半立	本年	5/25	7/3	589	47.8	24.0	23.8
	平年	5/26	7/6	518	45.0	21.9	22.9
	対比	-1	-3	114%	106%	110%	104%
ナカテユタカ	本年	5/28	6/30	459	54.5	30.7	23.8
	平年	5/29	7/5	445	54.7	31.8	21.6
	対比	-1	-5	103%	100%	97%	110%
おおまさり	本年	6/4	7/5	832	79.7	20.2	59.5
	平年	5/29	7/6	1,200	88.0	24.0	64.2
	対比	6	-1	69%	91%	84%	93%

品種名	年次	m ² 当たり 生さや実重 (g)	m ² 当たり 乾燥さや実重 (g)	さや乾物率 (乾燥さや実重) 生さや実重 (%)	上さや 不稔歩合 (%)	生育状況
千葉半立	本年	885	231	26.1%	9.3%	並
	平年	824	212	24.6%	4.7%	
	対比	107%	109%	-	-	
ナカテユタカ	本年	1,096	320	30.9%	17.0%	並～ やや不良
	平年	1,039	325	34.0%	5.0%	
	対比	106%	98%	-	-	
おおまさり	本年	1,017	204	22.4%	4.0%	やや不良
	平年	1,189	241	20.3%	2.0%	
	対比	86%	85%	-	-	

* 「千葉半立」、「ナカテユタカ」の平年値は平成19～25年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均

* 「おおまさり」の平年値は平成22年～25年（過去4年）の調査データの平均

* 対比は日数、または平年比

2 これからの管理のポイント

「試し掘り」を行って適期に収穫しよう！

収穫適期の目安は、「千葉半立」が開花期後95日、「ナカテユタカ」が開花期後80日です。**必ず試し掘りをして、適期収穫に努めましょう。**

今年は生育が早く、「ナカテユタカ」はすでに、収穫適期を迎えている地域があります。「ナカテユタカ」は「千葉半立」と異なり、葉が繁っているうちに収穫適期となり、**掘り遅れが食味を著しく低下させます。早めに試し掘りを行い、適期に収穫しましょう。**

また、圃場では白絹病や茎腐病が散見されますので、病気の発生がある場合は、被害株を除去しましょう。

なお、自家採種する場合は、被害株を取り除き、健全株から優良種子を採取しましょう。

落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期の目安

品種名	千葉半立		ナカテユタカ		おおまさり (ゆで豆)
	は種日	6月16日	5月23日	6月16日	
は種日	5月23日	6月16日	5月23日	6月16日	5月23日
開花期	6月27日	7月17日	6月26日	7月17日	6月26日
収穫目安	9月30日	10月20日	9月14日	10月5日	9月19日

*開花期は、ほ場全体の50%程度の株に1輪でも花が咲き始めた日

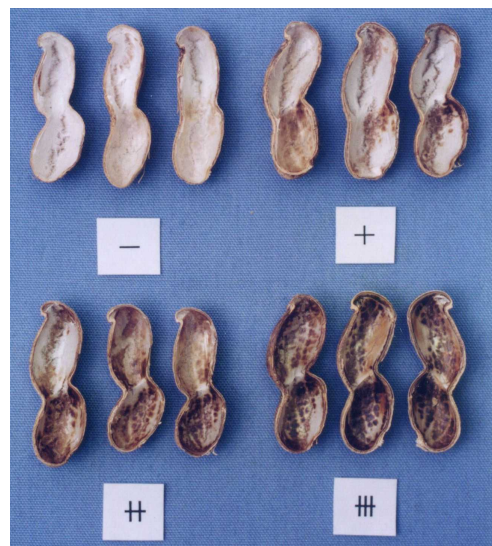
*収穫期目安は、「千葉半立」が開花期後95日、「おおまさり」が開花期後85日、「ナカテユタカ」が開花期後80日で算出。（日数は標準的な目安です。）

ナカテユタカの収穫適期判断法

「ナカテユタカ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2, 3日おきに試し掘りをして判定します。



丁寧な乾燥をして、おいしい落花生を消費者に届けよう！

おいしい落花生を生産するための乾燥のポイントは、湿気を防ぎ、なるべく風通し良く管理することです。

掘り取った落花生は、5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み（ポッチ積み）を行います。

特に9月から収穫期となる「ナカテユタカ」では、茎葉が多く蒸れやすいので注意が必要です。風通しが良い場所に小さく野積みし、ブルーシートや稲わら等で覆い、十分に雨を防ぎましょう。透明ビニールシートは湿気がこもりやすく、カビの発生の要因となるので、使用しないでください。

「落花生栽培管理簿」を確認してください

落花生の収穫期となりましたが、「栽培管理記録簿」は整っていますか？

「栽培管理記録簿」は、生産者自身が栽培管理や使用した肥料や農薬散布の状況を記録し、それらを集荷業者や量販店を通じて開示することで、千葉ブランド落花生の「安全・安心」を消費者へアピールすることが目的です。

出荷時に集荷業者に速やかに提出できるようもう一度内容を確認し、自分の保存用に控えを用意しておきましょう。